

住宅用

設置はお済みですか？

火災警報器



平成20年6月1日から**すべての住宅に**

住宅用火災警報器の**設置が義務**付けられています。

住宅用火災警報器は なぜ必要なの？

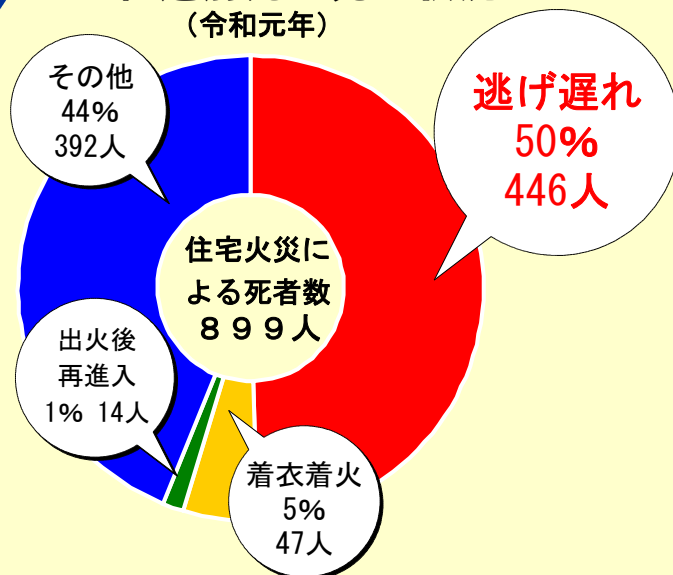
住宅火災による死者は899人
死者の約7割が65歳以上の高齢者



死に至った経過の約半数が『逃げ遅れ』

※総務省消防庁：「令和元年(1月～12月)火災の状況」より・放火自殺者を除く

住宅火災の死に至った 経過別死者発生状況 (令和元年)

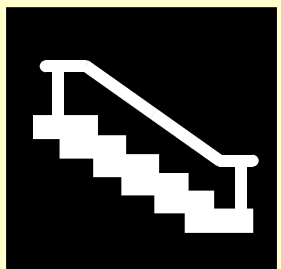


尊い命を守るため住宅用火災警報器による**火災の早期発見**が重要なのです。

住宅用火災警報器は どこに設置するの？



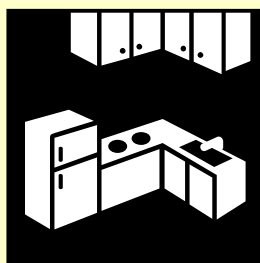
寝室に**煙式**



寝室が2階以上にある場合
階段に**煙式**

住宅用火災警報器の種類

けむり式	ねつ式
火災の煙に反応して警報音を発します。	火災の熱に反応して警報音を発します。



台所に
煙式または**熱式**

大崎管内で住宅用火災警報器を 「つけて助かった」という事例

火災警報器を「つけて助かった」という事例は 21件 報告されています。いずれも、火災に至らなかった・被害の小さい火災ですんだという事例となっています。その中から3つの事例をご紹介します。

● 事例1 台所のコンロから・・・！



2階寝室で寝ていたところ火災警報器（煙式）の音が聞こえたので、1階に降りると台所と茶の間に煙が漂っていた。ガスコンロのスイッチを確認すると魚焼きグリルのスイッチが入ったままだった。（平成24年）

● 事例2 たばこの吸殻で・・・！



たばこを灰皿でもみ消し、吸殻をごみ袋に捨て茶の間でテレビを見ながら寝てしまった。台所の方から火災警報器（煙式）の音が聞こえ煙が見えたので屋外に避難し119番通報した。（平成25年）

● 事例3 うっかり外出・・・！



台所のガスコンロで鍋に火をつけたまま、仕事に出かけてしまった。その後、新聞配達員が火災警報器（煙式）の音に気づき119番通報。大事に至らなかった。（令和元年）

大崎地域広域行政事務組合消防本部

住宅用火災警報器に関する問合せはお近くの消防署・分署・出張所まで

消防本部予防課	24-4268	三本木出張所	52-2510	西部分署	67-2369
古川消防署	24-4358	鳴子消防署	82-2349	遠田消防署	43-2351
志田分署	56-2546	岩出山分署	72-1560		
田尻分署	39-0630	加美消防署	63-2003		